

## DSD/JICA Project on Disability



Department of Social Development (DSD) / Japan International Cooperation Agency (JICA)  
Project for the Promotion of Empowerment of Persons with Disabilities and Disability Mainstreaming

### ハウテン州でピア・カウンセラー育成研修を行いました！

プロジェクトチームは、リンポポ州の障害者 12 名を対象に 2018 年 9 月 10～13 日にピア・カウンセラー育成研修を開催しました。2018 年 1 月にリンポポでピア・カウンセラー育成研修（簡易版）を実施しましたが、今回はその復習とさらなる技術向上を目的にしたアドバンス研修という位置づけです。ファシリテーターは草の根技術協力事業「アクセシブルなまちづくりを通じた障害者自立生活センターの能力構築」で育成された車いす使用者のジュライさんとコルネさんの 2 名が務め、彼らがサポートグループ（障害者自助グループ）活動を行っているハウテン州のテンビサで 5 日間行われました。参加者は、障害者自助グループ連盟のメンバーたちが協議し、これまでの活動実績や、熱意、ジェンダーおよび地理的バランスなどを考慮し障害者自身が選定しました。

4 日間のプログラムは、ピア・カウンセリングとは何かという基本的なことから、関係づくり、人間の本质、感情の開放などの重要なテーマ、さらにはリンポポの村の実情に合わせたロールプレイの台本作りなど実践的な内容となりました。



（写真）ピアカウンセリングに参加する障害者たちと講師のジュライさん（右）

最終日には、参加者たちが各村でピア・カウンセリングを実施する活動計画を作成しました。村の関係者からの協力の取り付け、会場や時間の設定、参加者の選定、実施後の振り返りなど、できる限り詳細な活動計画を作成し、ピア・カウンセリングの実施および継続ができるよう検討しました。

マツァカリ村から参加したオリビアさんは、「ピア・カウンセラ

一研修に参加したのは初めてでしたが、どのように話を聞くのか、どのようなテーマについて話すのかなど勉強になりました。作成した活動計画を基に、村に帰ってピア・カウンセリングを実施したいと思います」と話してくれました。10月16日にオリビアさんは自分の村でピア・カウンセリングを実施し、約30名の障害者が参加しました。



(写真) ピアカウンセリングの活動計画を作成する障害者たち

**フリーステート州マルティ・ア・ポフン市でキックオフ・ミーティングを開催しました！**

プロジェクトチームは、フリーステート州でのプロジェクト活動を正式に開始するキックオフ・ミーティングに出席しました。社会開発省ナショナルのマンティピ課長、クリシュ副課長、フリーステート州のマモサ課長、マトウ障害調整官、タボ・モフツァニャナ郡のオナ障害調整官など主要な関係者が出席し、さらにプロジェクトサイトの障害者などを含めると約80名が参加しました。

ミーティングでは、鷺谷専門家がプロジェクトの概要およびこれまでの進捗を発表し、また、これまでの活動を通じ開発した障害者のエンパワメントと障害主流化のアプローチ（Disability Empowerment and Mainstreaming Approach : DEMアプローチ）とアプローチの概念、リーステートで予定している活動案についても説明・提案しました。参加者からは、プロジェクトへの高い期待が寄せられ、今後の活動内容や介助者など関係者の巻き込みの重要性などに関する活発な議論が交わされました。

プロジェクトはまず10月に、質問表やグループディスカッションなどを通じたベースライン調査を行い、その後、障害者を対象とした社会モデル啓発ファシリテーター養成研修などを行う予定です。

最新のプロジェクト進捗状況は、プロジェクト Facebook ページをご覧ください！

JICA SADEM :

<https://www.facebook.com/jicasouthafricadisabilityempowermentmainstreaming/>

編集:

鷺谷 大輔

[DaisukeS@dsd.gov.za](mailto:DaisukeS@dsd.gov.za)

上岡 廉

[RenK@dsd.gov.za](mailto:RenK@dsd.gov.za)